

# 第67期 中間の事業報告

平成26年11月1日 ▶ 平成27年4月30日 証券コード 4996

「いのちと自然を守り育てること」わたしたちの変わらぬテーマです。

 **クミアイ化学工業株式会社**

K U M I A I C H E M I C A L I N D U S T R Y R E P O R T  
C O N T E N T S 1 株主の皆様へ 4 トピック 5 連結財務諸表 6 会社情報／株式情報

# 自社開発剤を中心



株主の皆様には、平素は格別のご支援、ご愛顧を賜わり誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

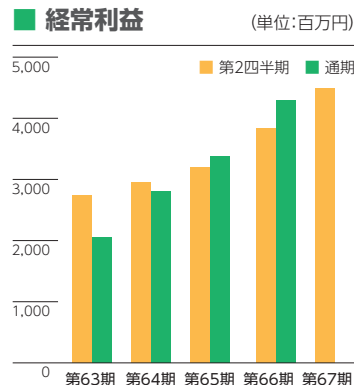
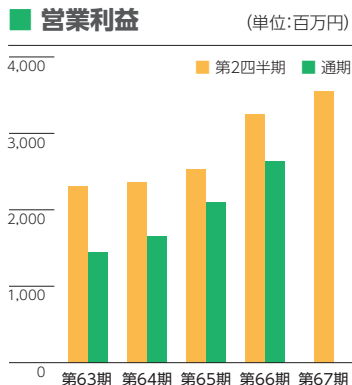
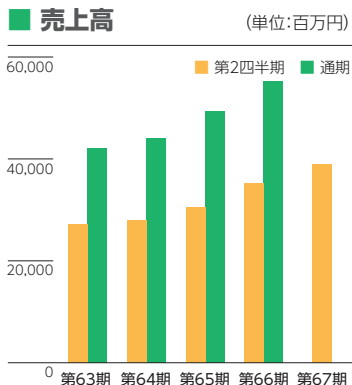
当社は平成27年3月30日から新たな経営体制を発足いたしました。本体制のもと、今後も全社一丸となって、「日本一幸せな会社」の実現を目指して邁進してまいります。

当グループの第67期中間期（第2四半期 平成26年11月1日から平成27年4月30日まで）の決算を終了いたしましたので、ここに事業活動の概況をご報告申し上げます。

今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜わりますようよろしくお願い申し上げます。

代表取締役会長 大竹 丈夫

代表取締役社長 小池 好智



# に注力し増収増益

## ■ 経営成績

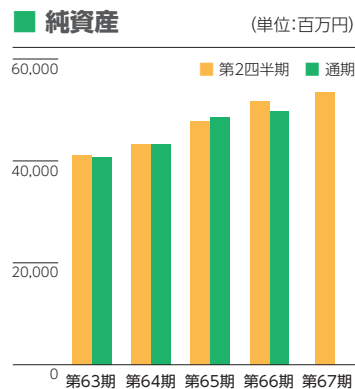
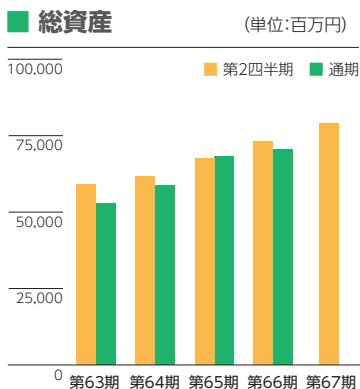
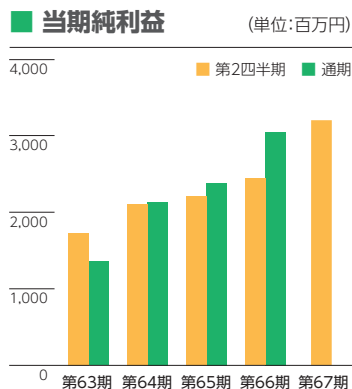
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景とした設備投資の増加や、海外経済の一部回復により輸出の持ち直しが見られるなど、日本経済は緩やかな回復が続いているものの、新興国の経済動向や欧州の債務問題への懸念など依然不透明な状況となっております。

農業に関しましては、「新たな食料・農業・農村基本計画」が3月に閣議決定され、農業の構造改革、新規需要の取り組みを通じて、農業の成長産業化を進める産業政策と、農村機能の向上を図る地域政策を両輪に「強い農業」の実現に向けた施策の展開が進められています。

このような情勢のもと、当グループは、引き続き市場の深耕・開拓による売上、利益の継続的増大を図るべ



く、心技体三位一体の変革による筋肉質経営の推進に取り組み、国内・海外とも、自社開発品を中心に販売戦略を策定し実践することで、更なる拡販のための販売体制の構築に努めてまいりました。



当グループの第2四半期連結累計期間における売上高は386億8千2百万円、前年同期比35億4千3百万円(10.1%)の増となりました。損益面につきましては、売上高が増加したことなどにより、営業利益は35億3千4百万円、前年同期比2億7千7百万円(8.5%)の増、経常利益は44億6千6百万円、前年同期比6億3千6百万円(16.6%)の増、四半期純利益は32億7百万円、前年同期比7億6千3百万円(31.2%)の増となりました。

## ■ セグメントの概況について

国内販売部門の農耕地分野では、水稲用除草剤「ピリミスルファン剤」、「トップガン剤」等の自社開発製品を中心として販売に注力したものの、流通段階での在庫圧縮に加えて、前年同期は消費税率引上げの影響があったことにより、水稲用除草剤全体としては前年同期を下回りました。一方、水稲用箱処理剤「インチアニル剤」は、ほぼ前年並みに推移しました。園芸分野では、殺虫剤「スプラサイド剤」、「スタークル」が伸張したことに加え、「サイアジピル剤」の新規上市により、前年同期を上回りました。また、非農耕地向け薬剤販売や受託加工は順調に推移しました。

海外販売部門では、畑作用除草剤「ピロキサスルホン剤」の米国における販売が伸張したことに加え、直播水

稲用除草剤「ノミニー」もインド向けの販売が伸張し、除草剤「サターン」も米国での販売が引き続き好調に推移したことから前年同期を大きく上回りました。

上記の結果、化学品セグメントの売上高は365億2千6百万円、前年同期比35億9百万円(10.6%)の増、営業利益は35億6千万円、前年同期比2億5千1百万円(7.6%)の増となりました。

賃貸セグメントの売上高は、引き続き保有資産の有効活用に努めた結果、1億1千5百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は2億1千万円)、前年同期比1百万円(1.0%)の増、営業利益は1億2千7百万円、前年同期比1百万円(0.5%)の増となりました。

流通事業、印刷事業、情報サービス事業、環境中の化学物質等計量事業及びメガソーラーによる売電収入などで構成されるその他は、流通事業では積極的な営業活動・顧客獲得活動に取り組み、売上、利益ともに前年同期を上回りました。また、印刷事業においても、既存顧客への売上が増加し、固定費の削減を図ったことから売上、利益ともに前年同期を上回りました。さらに、メガソーラーによる売電収入が寄与したことから、全体の売上高は20億4千2百万円、前年同期比3千3百万円(1.6%)の増、営業利益は2億5百万円、前年同期比5千5百万円(37.0%)の増となりました。

## トピック

『新規除草剤「フェノキサスルホン剤」  
上市記者発表会を開催』

当社が開発した新規除草剤有効成分「フェノキサスルホン」を含有する水稲用初中期一発処理除草剤「ガンガン」、「ベンケイ」、「クミスター」は平成26年10月に農薬登録を取得し、平成27年3月13日に上市しました。

「フェノキサスルホン剤」の上市に当たり、3月10日、当社の会議室におきまして記者発表会を開催しました。記者発表会には業界紙記者を始め、機関投資家の参加も多数あり新規剤への関心の高さを伺わせるものでした。

「フェノキサスルホン剤」は水田の問題雑草のノビエを主対象とし、一年生広葉雑草、一部の多年生雑草にも有効で、環境や水変動による影響を受けにくく、残効性に優れています。

当社以外でも「フェノキサスルホン」を含有する混合剤が開発されており、「フェノキサスルホン」は国内水稲分野で広く普及されることが期待されます。これから、農家の皆様に長くご愛顧いただけるよう、日本全国で普及を図ってまいります。

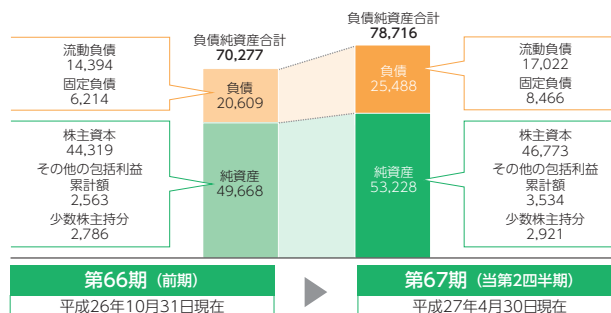
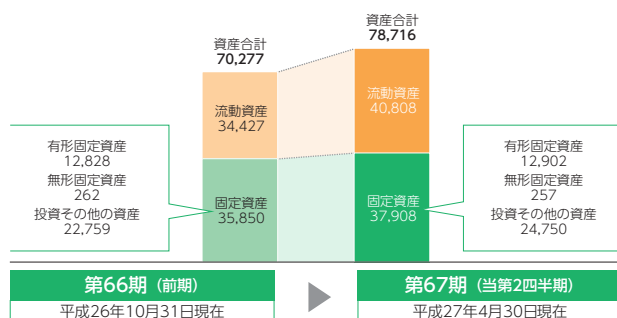
今後も当社は、農家の皆様のお役にたてるよう、農薬の開発を続けてまいります。



# 連結財務諸表 | FINANCIAL STATEMENTS

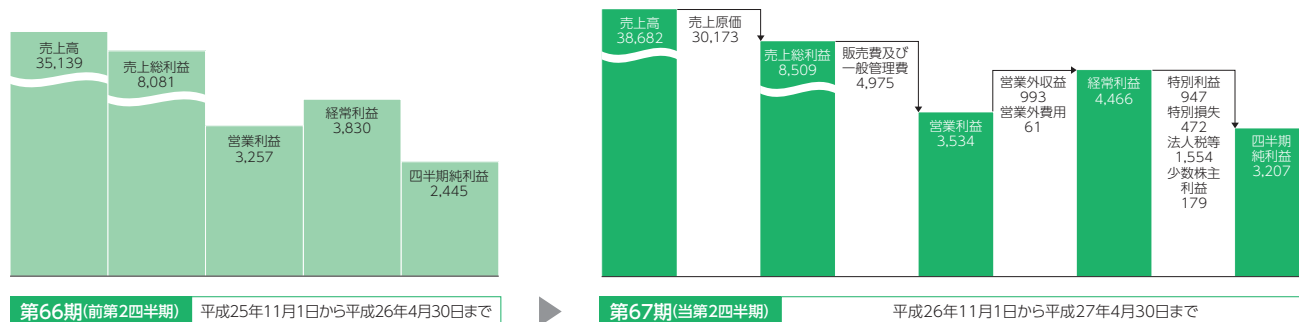
## 財務状況

(単位:百万円)

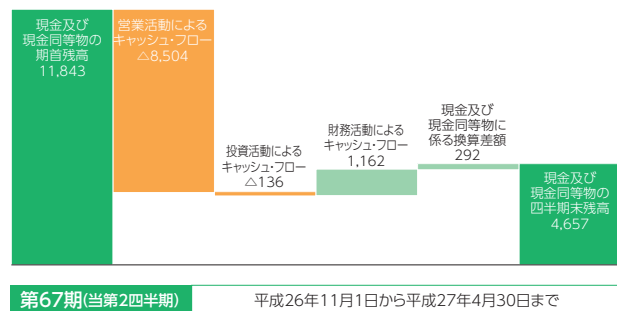


## 経営成績

(単位:百万円)



## 連結キャッシュ・フローの状況 (単位:百万円)



## 資産・負債・純資産について

### ● 資産の部

総資産は787億1千6百万円で、前連結会計年度末に比べ84億4千万円の増となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに投資有価証券の増加が現金及び預金並びに商品及び製品の減少を上回ったことなどによるものです。

### ● 負債の部

負債は254億8千万円で、前連結会計年度末に比べ48億7千9百万円の増となりました。これは主に、支払手形及び買掛金並びに長期借入金が増加したことなどによるものです。

### ● 純資産の部

純資産は532億2千8百万円、自己資本比率は63.9%、1株当たり純資産は629円50銭となりました。



## 会社概要

会社名	クミアイ化学工業株式会社
設立年月日	昭和24年6月20日
資本金	4,534百万円
事業内容	殺虫剤・殺菌剤・除草剤などの農薬の製造・販売
従業員数	400名(個別)
本社所在地	〒110-8782 東京都台東区池之端一丁目4番26号

## 取締役及び監査役

代表取締役 取締役会長	大竹 丈夫	取締役	安部 俊博
代表取締役 取締役社長	小池 好智	取締役	天野 徹夫
代表取締役 専務取締役	柿並 宏之	取締役	住吉 弘匡
常務取締役	尾嶋 正弘	取締役	前田 陽一
取締役	藤本文仁	常勤監査役	藤原 功
取締役	中島正成	監査役	久保 省三
		監査役	前田 哲弘
		監査役	高橋 軍治

(注) 常勤監査役藤原 功氏、監査役久保省三氏及び監査役前田哲弘氏は「会社法」第2条第16号に定める社外監査役であります。

※ 取締役(顧問)の石原英助氏は、平成27年5月8日に逝去されましたので、同日付で取締役を退任いたしました。

## 連結子会社の概要

尾道クミカ工業株式会社 ※ 農薬等の製造販売業	広島県尾道市 資本金100百万円 出資比率：100.0%
日本印刷工業株式会社 ※ 各種印刷物等の製造販売業	静岡県静岡市駿河区 資本金88百万円 出資比率：48.5%
株式会社クミカ物流 ※ 運送・倉庫業	静岡県静岡市清水区 資本金62百万円 出資比率：52.9%
ケイアイ情報システム株式会社 ※ 情報サービス業	東京都台東区 資本金50百万円 出資比率：50.0%
株式会社エコプロ・リサーチ ※ 環境中の化学物質等計量業	静岡県静岡市清水区 資本金45百万円 出資比率：66.7%
ケイ・アイケミカルU.S.A. ※ 農薬等の輸出入	米国ニューヨーク州 資本金2百万USドル 出資比率：50.0%
ケイ・アイケミカルヨーロッパ ※ 農薬等の輸出入	ベルギー王国ブラッセル市 資本金70万ユーロ 出資比率：50.0%
ケイ・アイケミカルドブラジル(有) ※ 受託業務	ブラジル連邦共和国サンパウロ市 資本金2百万レアル 出資比率：50.0%

## 株式の状況

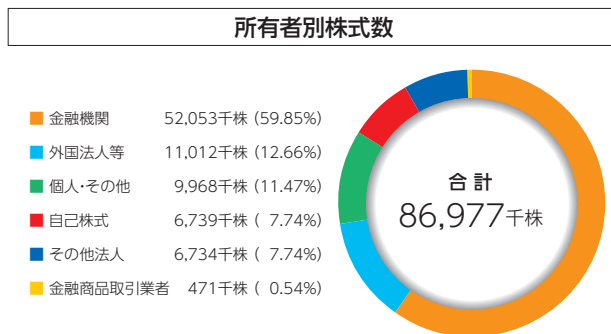
発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	86,977,709株
株主数	5,278名

## 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
全国農業協同組合連合会	26,527	30.49
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	6,442	7.40
静岡県経済農業協同組合連合会	2,770	3.18
スルガ銀行株式会社	2,609	3.00
農林中央金庫	2,588	2.97
CGML PB CLIENT ACCOUNT/ COLLATERAL	2,073	2.38
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	1,784	2.05
イハラケミカル工業株式会社	1,508	1.73
イハラ建成工業株式会社	1,076	1.23
共栄火災海上保険株式会社	1,007	1.15

(注) 当社は自己株式6,738,577株(持株比率7.74%)を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

## 株式分布状況



## ■ 株主メモ

事業年度 11月1日から翌年10月31日まで  
 定時株主総会 毎年1月中  
 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒137-8081  
 (郵送先) 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 証券代行部

基準日 定時株主総会については10月31日、その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日  
 公告の方法 電子公告により行う  
 公告掲載URL  
<http://www.kumiai-chem.co.jp/>  
 (但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

## 株式に関するお手続き等について

当社株式のお手続き窓口とお問合せ先は次のとおりです。

### お手続き窓口及びお問合せ先

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ お取引の証券会社等に開設されている振替口座に預託されている当社株式に関する単元未満株式買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き</li> <li>○ 上記の各お手続きに関するご照会</li> </ul>	<p>お取引口座を開設されている証券会社等にてお手続き又はお問合せをお願いします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まだ受取っておられない配当金の受領に関するお手続き及びそのご照会</li> <li>○ 特別口座に関する振替請求、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金の受領方法の指定、住所等の変更の各お手続き</li> <li>○ 株主名簿にご登録の配当金受取方法に関するご照会</li> <li>○ 株主様宛郵便物等の発送と返戻に関するご照会</li> <li>○ 特別口座に関する各お手続き及びそのご照会</li> </ul>	<p><b>【お手続き窓口】</b> 三菱UFJ信託銀行株式会社              全国本支店の窓口</p> <p><b>【お問合せ先】</b> 三菱UFJ信託銀行株式会社              各種お問合せ 0120-232-711              各種手続用紙のご請求 0120-244-479              インターネットによるダウンロード  <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a></p>



## クミアイ化学工業株式会社

本社 東京都台東区池之端一丁目4番26号  
 ※この中間の事業報告書に関するお問合せは下記までお願いいたします。  
 総務部 03(3822)5036  
 U R L <http://www.kumiai-chem.co.jp/>

IR情報を当社ホームページで  
 ご覧になれます。

ホームページアドレスは次のとおりです。  
<http://www.kumiai-chem.co.jp/>



環境に配慮した  
 「植物油インキ」を  
 使用しています。